

# 輸出事業計画

※申請者名：ジェイエてんどう輸出推進協議会

品目：メロン、もも、かき、西洋なし

## 1. 輸出における現状と課題

### 【現状】

- 令和4年5月に協議会を設立し、香港、シンガポール、台湾、タイ、マレーシアへのもも、ぶどう、西洋なし等を輸出してきたところ。
- 例えば「もも」は、中秋節を中心とする8月下旬から9月末までの中華圏の小売店からの引き合いが強いことなどをはじめ、対象品目全般について、輸出相手国からの需要に十分応えられない状況である。

### 【課題】

#### （生産）参画事業者の拡大

輸出量の確保に向けては、生産者や生産団体の拡大が必要である。特に高齢化が進む中で、輸出に対する知見や技術を習得した若年層の新規参入を促す取り組みが求められている。

#### （販売①）協議会活動の高度化

輸出量と販売力の拡大には、地域を越えた生産者・関係機関の連携強化が不可欠である。特に、協議会活動を実効性あるものとするための組織体制の強化が求められている。地域を超えた連携の為にも、協議会活動の情報発信も必要。

#### （販売②）輸出重点先（タイ／小売店）のマーケットニーズの分析

継続的な販路拡大のためには、タイ市場の消費者ニーズや流通環境を的確に把握し、商品構成や販売戦略に反映させる必要がある。

#### （物流）他産地と連携した混載輸出の検証

輸出拡大のためには、10t単位での積載によるコンテナ満載輸送を実現し、物流コストを削減することが課題である。山形県産のみでの満載は難しい場合も多く、他県の産地間連携による積載効率の向上が必要とされている。

## 2. 輸出事業計画の取組内容

### 【取組内容】

#### （生産）参画事業者の拡大

若手生産者の確保に向け、年4回程度の勉強会や年2回程度の検討会を通じて、輸出の魅力や将来性を訴求する啓発活動を実施するとともに、輸出知識の習得と技術力向上を図り、生産者の継続的な参画を促進する。

#### （販売①）協議会活動の高度化

輸出に特化した品目分科会を設置し、生産者・JA・市場等の関係者との連携体制を強化する。さらに、協議会の活動や産地の魅力を多言語で発信するホームページを構築し、情報発信力を高める。

#### （販売②）輸出重点先（タイ／小売店）のマーケットニーズの分析

協議会役員や生産者が参加する現地視察を通じて、販売価格やニーズを把握する。併せて、主要品目以外のテスト輸出を実施し、販売状況や着荷状態を検証する。

#### （物流）他産地と連携した混載輸出の検証

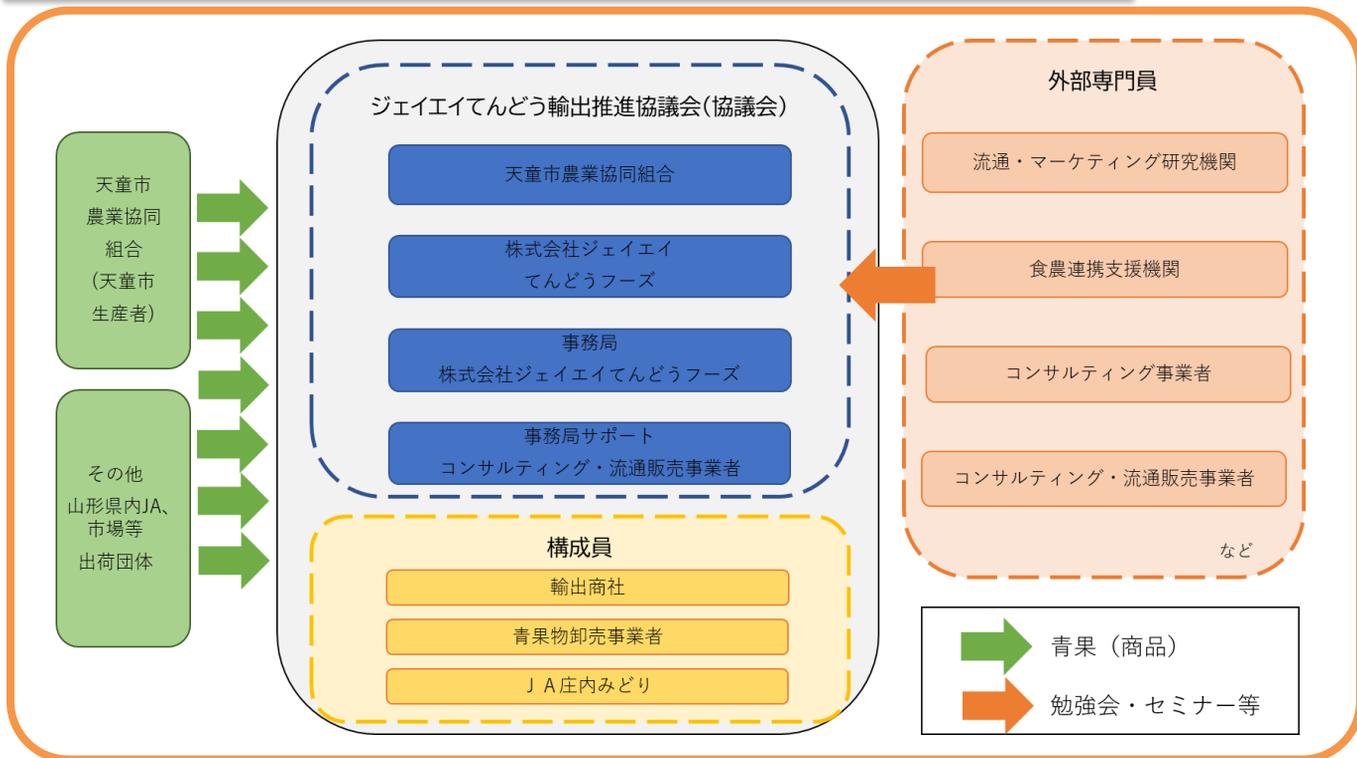
各産地から無選果の状態で港湾部の輸出向け選果場に搬入し、選果・こん包のうえ、混載輸出する実証を実施する。鮮度保持やコスト、リードタイムの面で従来手法との比較検証を行い、物流効率の向上を図る。

# 輸出事業計画

※申請者名：ジェイエてんどう輸出推進協議会

品目：メロン、もも、かき、西洋なし

## 3. 輸出事業計画の実証と見直しを行うためのPDCA実施体制



## 4. 輸出目標額

### 【メロン】

	現状 (令和5年度)	目標年 (令和8年度)
輸出額 (千円)	1,605	6,000
輸出量 (kg)	742	3,000
輸出先国	タイ、シンガポール	タイ、シンガポール、香港、マレーシア

### 【もも】

	現状 (令和5年度)	目標年 (令和8年度)
輸出額 (千円)	31,564	70,000
輸出量 (kg)	42,425	100,000
輸出先国	タイ、シンガポール、香港、マレーシア	タイ、シンガポール、香港、マレーシア 他

### 【かき】

	現状 (令和5年度)	目標年 (令和8年度)
輸出額 (千円)	2,798	10,000
輸出量 (kg)	1,023	3,600
輸出先国	タイ、シンガポール	タイ、シンガポール、香港、マレーシア 他

### 【西洋なし】

	現状 (令和5年度)	目標年 (令和8年度)
輸出額 (千円)	1,231	10,000
輸出量 (kg)	2,018	25,000
輸出先国	シンガポール、香港、台湾	シンガポール、香港、台湾、マレーシア 他